

各学年の指導事項と授業時数の配当（第1・2学年）

学年	月	ページ	単元名	教材名	学習指導要領の内容			配当時数
					伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		その他の指導事項	
					(2)の事項	(1)の事項		
1	4	表2-P1	1 はじめに	あさ（そらがき）	ア			適宜
		P2-3		じを かく しせい	ア			2～3
		P4-6		えんぴつの もちかた	ア			
	5	P7-8	2 ひらがな	ひらがな あつまれ	ア・イ	ウ(ア)		適宜
		P9		かきじゅん	ア・イ	ウ(ア)		1
		P10-11		「とめ」と「はらい」	ア・イ	ウ(ア)		2
	6	P12-13	2 ひらがな	「まがり」と「おれ」	ア・イ	ウ(ア)		2
		P14-15		「むすび」	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)		2
	7	P16-17	2 ひらがな	すきな こと, なあに <こくご>	ア	イ(エ)(オ), ウ(ア)	B(1)ウ・エ(2)ウ	2
	9	P18		にて いる ひらがな	ア・イ	ウ(ア)		2～3
		P19		じの かたち	ア・イ	ウ(ア)		
	10	P20-21	3 かたかな	かたかなの かきかた	ア・イ	イ(エ), ウ(ア)		2
		P22-23		かたかな あつまれ	ア・イ	イ(エ), ウ(ア)		適宜
	11	P24-25	4 かん字	「とめ」「はね」「はらい」	ア・イ	ウ(イ)		2
		P26-27		「おれ」「まがり」「そり」	ア・イ	ウ(イ)		2
1-3	P28	5 かん字と かたかな	かきじゅん	ア・イ	ウ(ア)(イ)		2～3	
	P29		字の かたち	ア・イ	ウ(ア)(イ)			
	P30-31		にて いる かん字と かたかな	ア・イ	イ(エ), ウ(ア)(イ)			2
適宜	P32-33	6 まとめ	かきぞめ	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ)		5～6	
	P34-35		一年生の まとめ	ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(イ)	B(1)ウ・エ(2)イ	2～3	
適宜	P36-37	しりょう	よこがきの かきかた	イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)	B(1)ウ・エ(2)イ	適宜	
	P38-39		一年生で ならう かん字	ア・イ	ウ(イ)			
2	4	表2-P1	1 はじめに	正しいのは, どちらかな	イ			適宜
		P2-3		字を 書く しせい	ア			2～3
		P4-5		えんぴつの もちかた	ア			
	5	P7-8	2 かん字の 書き方	書きじゅん	イ	ウ(ウ)		2
		P9		点と 画の 名前	イ	ウ(ウ)		1
	6	P10-11		2 かん字の 書き方	「はらい」の ほうこう	ア・イ	ウ(ウ)	
		P12-13	「おれ」の ほうこう		ア・イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)		2
	7	P14-15	2 かん字の 書き方		げんこう用紙に 書く とき <国語>	ア	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)	B(1)ウ・エ(2)エ
	9	P16		「そり」の ほうこう	ア・イ	ウ(ウ)		2～3
		P17		「点」の ほうこう	ア・イ	ウ(ウ)		
	10	P18	2 かん字の 書き方	画の 長さ	ア・イ	ウ(ウ)		2～3
		P19		点や 画の 間	ア・イ	ウ(ウ)		
		P20-21		画の つき方と 交わり方	ア・イ	ウ(ウ)		
	11	P22-23	3 まとめ	点や 画の 書き方の まとめ	ア・イ	イ(オ), ウ(ア)(ウ)		2
		P24		字の 形	ア・イ	ウ(ウ)		2
	12	P25		3 まとめ	字の 中心	ア・イ	ウ(ウ)	
	1-3	P26-27	書きぞめ		ア・イ	イ(オ), ウ(ア)(ウ)		4～5
		P28-29	二年生の まとめ		ア	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)	B(1)ウ・エ(2)イ	2～3
適宜	P30-31	しりょう	手紙の 書き方	イ	イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ)	B(1)ウ・エ(2)オ	適宜	
	P32		ひらがな/かたかな	ア・イ	ウ(ア)			
	P33		一年生で 学んだ かん字	ア・イ	ウ(ウ)			
2-3	P34-35	しりょう	二年生で 学ぶ かん字	ア・イ	ウ(ウ)		適宜	
	P36		（もっと 知りたい）えんぴつが できるまで	ア				1
P37	できて いるかな	ア						

学習指導要領の内容（第1・2学年） ※該当箇所抜粋

B 書くこと	(1)指導事項	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら, つながりのある文や文章を書くこと。 エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに, 間違いなどに気付き, 正すこと。
	(2)言語活動例	イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと。
		ウ 身近な事物を簡単に説明する文章などを書くこと。
		エ 紹介したいことをメモにまとめたり, 文章に書いたりすること。 オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)言葉の特徴やきまりに関する事項	(エ) 長音, 拗音, 促音, 撥音などの表記ができ, 助詞の「は」, 「へ」及び「を」を文の中で正しく使うこと。 (オ) 句読点の打ち方や, かぎ（「」）の使い方を理解して文章の中で使うこと。
		(1)ウ 文字に関する事項
	(2)書写に関する事項	ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし, 文字の形に注意しながら, 丁寧に書くこと。
		イ 点画の長短や方向, 接し方や交わり方などに注意して, 筆順に従って文字を正しく書くこと。

## 年間指導計画 2年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	正しいのは、どちらかな 〔教科書 巻頭〕 ◎文字を正しく書く大切さを知り、書写学習に対する関心を高めることができる。〔伝国(2)イ〕	適宜	1教科書上段の絵と文字から正しい書き方をしている文字を選び、誤った書き方になっている文字の理由を話し合う。 21年間の学習内容を知る。	【関】文字を正しく書く大切さに気付き、書写学習に対する関心を高めている。 【知】正しい文字とその理由を、既習事項から説明している。
	1. はじめに			
	字を書くしせい 〔教科書P2-3〕 ◎文字を書くときの姿勢を確かめることができる。〔伝国(2)ア〕	2～3	1P2-3の写真を見て、文字を書くときの姿勢を確かめる。 2唱歌「足は べったん。せなかは びん。…」に合わせて、友達と姿勢を確かめ合う。	【関】文字を書くときの姿勢を意識し、唱歌に合わせた姿勢をとろうとしている。 【知】文字を書くときの姿勢を理解している。 【技】唱歌に合わせた姿勢をしている。
えんぴつのもち方 〔教科書P4-6〕 ◎鉛筆の持ち方を確認し、平仮名や片仮名の外形や終筆・送筆の書き方などに気を付けて書くことができる。〔伝国(2)ア〕	1P4-5の写真や唱歌を見て、鉛筆の持ち方を確かめる。 2P5-6を見て、手の置き方を確かめる。 3文字を書くときの姿勢と鉛筆の持ち方で、1年生で学習した平仮名や片仮名の外形や終筆・送筆の書き方などを確認しながら鉛筆でなぞる。		【関】教科書の絵や写真のように鉛筆を持つようとしている。 【知】鉛筆の持ち方を理解している。 【技】学習した姿勢や鉛筆の持ち方で、平仮名と片仮名を書いている。	
5月	2. かん字の書き方			
	書きじゆん〔教科書P7-8〕 ◎筆順の原則を知り、筆順に気を付けて書くことができる。 〔伝国(1)ウ(ウ)、(2)イ〕	2	1「三・川・月・中」を指でなぞり、筆順の原則を知る。 2筆順の原則にしたがって、鉛筆で漢字を書く。 3「田・日」を指でなぞって筆順を確かめ、筆順に気を付けて同じ部分をもつ漢字を鉛筆で書く。	【関】筆順の原則にしたがって書こうとしている。 【知】筆順の原則を理解している。 【技】筆順の原則にしたがって、正しく書いている。
	点と画の名前〔教科書P9〕 ◎点画の名称を理解することができる。〔伝国(1)ウ(ウ)、(2)イ〕	1	1「犬」を指でなぞり、漢字は点や画の組み合わせでできていることを知る。 2点画の名称を確認し、指でなぞる。 3点画とその名称を線で結ぶ活動を行う。	【関】漢字の点画に関心をもち、名称を覚えようとしている。 【知】点画の名称を理解している。
6月	「はらい」のほうこう 〔教科書P10-11〕 ◎左払いの方向の違いに気を付けて書くことができる。〔伝国(1)ウ(ウ)、(2)ア・イ〕	2	1「千・人・天・月」の左払いを指でなぞり、左払いにはいろいろな方向があり、払いの方向に気を付けて書くと字形が整うことを知る。 2左払いと、左払いをもつ漢字を線で結び、方向の違いを確かめる。 3右払いの方向にも違いがあることを知る。 4払いの方向の違いに気を付けて、鉛筆で言葉を書く。	【関】払いの方向の違いに気を付けて書こうとしている。 【知】払いの方向の違いを理解している。 【技】払いの方向の違いに気を付けて書いている。
	「おれ」のほうこう 〔教科書P12-13〕 ◎折れの方向の違いに気を付けて書くことができる。〔伝国(1)イ(エ)(ア)、ウ(ア)(ウ)、(2)ア・イ〕	2	1「目・ロ・子」の折れを指でなぞり、折れの方向には違いがあり、折れの方向に気を付けて書くと字形が整うことを知る。 2折れの方向の違いに気を付けて、漢字や文を鉛筆で書く。	【関】折れの方向の違いに気を付けて書こうとしている。 【知】折れの方向の違いを理解している。 【技】折れの方向の違いに気を付けて書いている。
7月	げんこう用紙に書くとき 〈国語〉〔教科書P14-15〕 ◎原稿用紙の使い方を理解して、丁寧に書くことができる。 〔伝国(1)イ(エ)(ウ)、ウ(ア)(ウ)、(2)ア〕 ◎おもしろいと思ったものを知らせる文章を書くことができる。〔B(1)ウ・エ、(2)エ〕	2	1原稿用紙の使い方(題名・氏名の書き方、句読点を書く位置、会話文の書き方など)を知る。 2始め・中・終わりを意識して、おもしろいと思ったものを知らせる文章を考える。 3学習したことに気を付けて、考えた文章を原稿用紙に書く。	【関】原稿用紙の使い方に気を付けて、丁寧に書こうとしている。 【知】原稿用紙の使い方を理解している。 【技】原稿用紙の使い方を理解して、丁寧に書いている。
9月	「そり」のほうこう 〔教科書P16〕 ◎反りの方向の違いに気を付けて書くことができる。〔伝国(1)ウ(ウ)、(2)ア・イ〕	2～3	1「紙・思」の反りを指でなぞり、反りの方向には違いがあり、反りの方向に気を付けて書くと字形が整うことを知る。 2反りと曲がりの違いを確かめる。 3反りや曲がりの方向の違いに気を付けて、言葉を鉛筆で書く。	【関】反りの方向の違いに気を付けて書こうとしている。 【知】反りの方向の違いを理解している。 【技】反りの方向の違いに気を付けて書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
9月	「点」の ほうこう [教科書P17] ◎点の方向の違いに気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]		1 「立・小・魚」の点を指でなぞり、点の方向には違いがあり、点の方向に気を付けて書くと字形が整うことを知る。 2 「雨音・金魚」の点は、それぞれどの方向か考え、鉛筆で書く。	【関】点の方向の違いに気を付けて書こうとしている。 【知】点の方向の違いを理解している。 【技】点の方向の違いに気を付けて書いている。
10月	画の 長さ [教科書P18] ◎横画の長さに気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]	2～3	1 二つの「言」を見て、⑦の字形を整えて書くためにはどうしたらよいか考え、話し合う。 2 横画が複数ある場合、一画だけ長く書くと字形が整うことを知る。 3 横画の長さに気を付けて、言葉を鉛筆で書く。	【関】横画の長さに気を付けて書こうとしている。 【知】横画が複数ある場合、一画だけ長く書くと字形が整うことを理解している。 【技】横画の長さに気を付けて書いている。
	点や 画の 間 [教科書P19] ◎点や画の間に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]		1 二つの「目」を見て、⑧の字形を整えて書くためにはどうしたらよいか考え、話し合う。 2 点や同じ種類の画が複数ある場合、その間を同じくらい空けて書くと、字形が整うことを知る。 3 点や画の間に気を付けて、言葉を鉛筆で書く。	【関】点や画の間に気を付けて書こうとしている。 【知】点や同じ種類の画が複数ある場合、その間を同じくらい空けて書くと、字形が整うことを理解している。 【技】点や画の間に気を付けて書いている。
	画の つき方と 交わり方 [教科書P20-21] ◎画のつき方と交わり方に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]	2	1 「八・入・文」を指でなぞり、画と画が「はなれる・つく・交わる」の違いを知る。 2 画と画が付くか交わるかで違う漢字になることを知る。 3 画のつき方と交わり方に気を付けて、漢字を鉛筆で書く。	【関】画のつき方と交わり方に気を付けて書こうとしている。 【知】画と画がはなれるか、付くか、交わるかに気を付けて書くと、正しい文字が書けることを理解している。 【技】画のつき方と交わり方に気を付けて、正しく書いている。
11月	点や 画の 書き方の まとめ [教科書P22-23] ◎これまでに学習したことを振り返り、文字を正しく整えて書くことができる。[伝国(1)イ(オ), ウ(ア)(ウ), (2)ア・イ]	2	1 問題を解き、これまでに学習した、点画の方向・画の長さ・点や画の間・画のつき方と交わり方について、確かめる。 2 確認した内容に気を付けて、文を丁寧に書く。	【関】既習事項を振り返り、問題を解いたり文字を正しく整えて書いたりしようとしている。 【知】既習事項を理解している。 【技】既習事項に気を付けて、文字を正しく整えて書いている。
	字の 形 [教科書P24] ◎外形に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]	2	1 「門・月・西・上・下・手」を見て、漢字にはどのような形があるかを調べる。 2 外形に気を付けて書くと、字形が整うことを知る。 3 正しい外形の漢字を選び、外形に気を付けて、文字を鉛筆で書く。	【関】外形に気を付けて書こうとしている。 【知】外形に気を付けて書くと、字形が整うことを理解している。 【技】外形に気を付けて書いている。
12月	字の 中心 [教科書P25] ◎文字の中心に気を付けて書くことができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]	2	1 補助線をヒントに、「本・文・合・二」の中心を探す。 2 「縦画」「点」「画と画がつくところ」「横画の真ん中」が文字の中心になることを知る。 3 文字の中心を見つけて、言葉を鉛筆で書く。	【関】文字の中心を進んで見つけようとしている。 【知】文字の中心になる目印を理解している。 【技】文字の中心を見つけて書いている。
1月	3. まとめ			
	書きぞめ [教科書P26-27] ◎これまでに学習したことに気を付けて、丁寧に書くことができる。[伝国(1)イ(オ), ウ(ア)(ウ), (2)ア・イ]	4～5	1 P26の「たいせつ」を見て、これまでに学習したことを確かめる。 2 これまでに学習したことに気を付けて、鉛筆で文章を書く。 3 フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「元気にあいさつ」を書く。	【関】これまでに学習したことに気を付けて、丁寧に書こうとしている。 【知】これまでに学習したことを理解している。 【技】これまでに学習したことに気を付けて丁寧に書いている。
2月 3月	二年生の まとめ [教科書P28-29] ◎2年生で学習したことを振り返り、書いて確かめることができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ), (2)ア] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)イ]	2～3	1 問題を解き、画の方向や長さ、点や画の間、画のつき方と交わり方、文字の外形や中心について確かめる。 2 これまでに学習したことに気を付けて、1年間の思い出を書く。	【関】1年間の学習を振り返り、意欲的に取り組もうとしている。 【知】画の方向や長さ、点や画の間、画のつき方と交わり方、文字の外形や中心について理解している。 【技】画の方向や長さ、点や画の間、画のつき方と交わり方、文字の外形や中心などに気を付けて、丁寧に書いている。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
適宜	しりょう			
	<b>手紙の 書き方</b> [教科書P30-31] ◎縦書き・横書きそれぞれの罫線に対する書き方を理解して書くことができる。[伝国(1)イ(エ)(オ), ウ(ア)(ウ), (2)イ] ○伝えたいことを簡単な手紙に書くことができる。[B(1)ウ・エ, (2)オ]	適宜	<b>1</b> 数字の書き方や書き・横書きそれぞれの罫線に対する書き方を知る。 <b>2</b> 文の書き始めや促音・拗音・句読点の書き方・罫線への取め方などに気を付けて手紙を書く。	<b>【関】</b> 手紙の書き方に関心を持ち、意欲的に書こうとしている。 <b>【知】</b> 罫線に対する書き方を理解している。 <b>【技】</b> 罫線に対する書き方を理解して丁寧に書いている。
	<b>ひらがな／かたかな</b> [教科書P32] ◎平仮名や片仮名の書き方を確かめることができる。[伝国(1)ウ(ア), (2)ア・イ]		1 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめる。	<b>【関】</b> 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめて書こうとしている。 <b>【技】</b> 平仮名・片仮名の筆使い、筆順、外形などを確かめて書いている。
	<b>一年生で 学んだ かん字</b> [教科書P33] ◎1年生で学習した漢字を確かめることができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]		1 1年生で学習した漢字の筆順や字形の整え方を確かめる。	<b>【関】</b> 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書こうとしている。 <b>【技】</b> 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書いている。
	<b>二年生で 学ぶ かん字</b> [教科書P34-35] ◎2年生で学習する漢字を確かめることができる。[伝国(1)ウ(ウ), (2)ア・イ]		1 2年生で学習する漢字の筆順や字形の整え方を確かめる。	<b>【関】</b> 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書こうとしている。 <b>【技】</b> 漢字の筆順や字形の整え方を確かめて書いている。
2月 3月	<b>えんぴつが できるまで</b> [教科書P36] ◎鉛筆の作り方を知り、筆記具への関心を高めることができる。[伝国(2)ア]	1	1 P36の写真や説明を見て、鉛筆の作り方を知る。	<b>【関】</b> 鉛筆の作り方に興味をもち、筆記具への関心を高めている。 <b>【知】</b> 鉛筆の作り方を理解している。
	<b>できて いるかな</b> [教科書P37] ◎鉛筆の持ち方を確かめることができる。[伝国(2)ア]		<b>1</b> P37の各項目ができているかチェックし、鉛筆の正しい持ち方を確認する。 <b>2</b> 正しく鉛筆を持つ利点を知る。	<b>【関】</b> 示された写真や絵のように鉛筆を持つようとしている。 <b>【技】</b> 示された写真や絵のように鉛筆を持っている。